

7. 先生との研究に関する議論

高橋： 以上のことから現行の授業時間では十分ではないと思います。

これで発表を終わります。それではご指導をお願いいたします。

先生： はい。お疲れ様でした。うーん、まずは、そうだなあ。

高橋君の意見では、これからの小学校、中学校ではもっと勉強した方がいいという結論なんですね。

高橋： はい。もっと授業時間を増やすべきなんじゃないかと。

先生： そうですねえ、一口に授業を増やすと言っても、授業内容やどのくらい授業を増やすのか、また制度の改革など細かい話し合いが必要になってきますね。

高橋： はい。先生がおっしゃるように、単純に授業時間を増やせば良いという問題ではないと思います。

先生： 具体的にはどのようにすれば良いと思いますか。

高橋： そうですね、今、先生からお話を頂いたように、まずは現在学校でどのような授業が行われているのかといった調査も含めた、細かい話し合いが必要になってくるのではないかと思います。

先生： うーん。それは重要ですね。

高橋： はい。このテーマを卒業論文のテーマにしようと思っているので、さらに詳しく研究していこうと思います。

先生： そうですか。それではさらに研究を深めなければいけませんね。

高橋： はい。先生にご指導を頂きながら頑張ります。

先生： 分かりました。はい。それでは発表お疲れ様でした。

高橋： ありがとうございます。これからもよろしく申し上げます。